

平成29年度 第1回坂井市地域公共交通会議

開催日時 平成29年6月7日(水) 午後2時から午後3時20分

場 所 坂井市役所 多目的研修センター3階大ホール

出席者 浅沼会長、坂野委員、阿津川委員、金谷委員、竹吉委員、平井さん、猪嶋委員、
中川委員、出口さん、大野さん、佐々木委員、長谷川委員、岡永委員、
矢部委員

事務局 寺木次長、東山課長、浦補佐、宮本主任

1 開会

委員出席状況・会議成立を報告

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) コミュニティバスの運行実績について

事務局からコミュニティバス運行実績を報告

(2) えちぜん鉄道の運行実績について

佐々木委員からえちぜん鉄道の運行実績を報告

【質疑】

(竹吉委員)

昨年の会議でも高校生の数が坂井高校で増えているのになぜ利用者の数が減っているのかと話題になった。時間が合わない、利用しづらいとの声が去年たくさんあった。確かにコミバスを出して貰えるのはありがたいのだが、特に三国の生徒は学校の始業時間に間に合わせようとするので6時半に出なければならない。現在、三国から坂井高校に来ている生徒は今年で67名、昨年と同じくらい。夏休みにガタッと利用者が落ち込んで約半数ぐらいになっているというのは三国坂井ルート基幹ルートの利用者の約半数が坂井高校の生徒だからだと思います。何回か時間の見直しをお願いしたが高校生だけではなく、JRの時間に合わせるためだとかで時間の変更をかなえて貰えなかったが、例えば今2台のバスがでていたのを1台時間的にスライドさせるとか、少し学校の始業の時間に間に合わせるような形で運行を少し調節して頂けるともう少し高校生の利用が伸びるのではないかと思います。

今、三国芦原方面から来ている高校生がコミバスを使いにくいものだからえちぜん鉄道を利用しており下兵庫の駅でおりて、佐々木委員の計らいでレンタル自転車を置いて頂くなどをしていただき便宜を図っていただいているがコミバスの時間が始業に間に合うというのが一番良い。15分くらいはずらせないか。

今現在期間ルートの三国坂井ルートの左回りは最初から時間的に厳しいが学校の始業8時20分に間に合るといって今は右回りルートの第一便に乗るしかないが、JR丸岡

駅に着くのが7時39分、これに間に合おうと思ったら6時代に家を出なければならない。非常に厳しい状況。三国高でも何回も陳情しているということを知っているが、なかなかこの第一便の時間変更は難しいとのこと。なので2台出ている内の1台を何とかして頂きたい。

(事務局)

この件については28年の第二回の会議で校長先生から話がありその時に話したものがあります。資料の後ろに付けてある議事録、その他、P5になります。

事務局から解説して申し上げた内容ですが、現状では期間ルートの三国坂井と丸岡春江ルートが中間地点の「いねす」経由で接続し、東西の横断が出来るようになっていきます。その中で坂井丸岡春江方面から三国高校に通う生徒が間に合うような時間設定にすると、三国から坂井へ向かう便は朝早くなってしまおうという状況です。もし坂井高校へ8時に着くようにということになるとスクールバスのような形で全く別の便を創設するという事を考えなくてはならないということで、こちらのほうも今の件についてはゆくゆく検討した中で、どうしてもこうゆう時刻帯でしか運行ができないということでございます。

少なくとも三国から坂井高校に通う方に対する不便さを少しでも解消する一つが続行便として2台走らせている訳ですが、キャパとしては実際それをカバーすることはできないと思いますが、その時刻帯がどうしても厳しいということについては今申し上げた通り帰りの便もあるということで、そのことを考慮してのことです。つげくわえて、JRとのえちぜん鉄道との結節もあるのでその点もご考慮願いたいとおもいます。

実態として5月のOD調査の結果、第一便には殆ど高校生が乗っている状況であり、15分遅くしてもそこに高校生がどっと乗ってくるので、そこにもまた続行便を置かなければならないという状況になります。

新たに別便を創設すると何が坂井市として厳しいかということ、一便増便するだけでもかなりの委託料を払うことになります。今コミバスを走らせている内容の中には費用対効果、走らせるだけの利用者数があるということであればその分を考えるとということなので、全体を平均して考えると、この便をどうしても1便増設しなければならないかどうかというのが今熟慮しているところです。

続行便に関しても年間の費用としては相当の費用になっているということをご理解頂きたいと思います。

4 協議事項

(1) コミュニティバス及び路線バスの運行経路・バス停名の変更について

【内容】

- ・平成29年10月23日から三国支所からみくに市民センターにバス停を変更する。

【協議・質疑】

(大野さん)

現職バスの運転手をしていますが、入口のところ、民間車両も入れるのか。また、入口、

出口どちらからも入れるようになっているのか。バスも車も一方通行ですか。

(事務局)

バスも車も一方通行と聞いています。

(出口さん)

道路ではないのですか。また、表示は坂井市ですのですか。敷地と道路の境目は分かるようにしてほしい。

(事務局)

道路ではありません。曲がっているところから坂井市の敷地内となります。

表示は坂井市だと聞いています。道路との境目については、担当課に話します。

(浅沼会長)

他にご意見がなければ承認してもいいですか。

(委員)

承認

(浅沼会長)

ありがとうございます。

(2) コミュニティバス停留所の移設について

【内容】

- ・磯部コミセンの増築工事のため、バス停を仮移設する。

(平井さん)

移設にはどのくらいの期間予定していますか。また一時的に置くと思うが、道路管理者と警察には協議していますか。

(事務局)

来年の3月末完成までとなっています。工事が終わったら戻します。道路管理者と警察には坂井市の敷地内と思ひまして管理者との打ち合わせはしていません。

(平井さん)

一応敷地内でもバスが止まるので担当者に了解を得て頂きたい。

(事務局)

分かりました。

戻すときは交通会議で承認しなくてよいですか。

(平井さん)

ここで戻すよとしていただければ良いです。

(浅沼会長)

他にご意見がなければ承認してもいいですか。

(委員)

承認

(浅沼会長)

ありがとうございます。

(3) 路線バスの見直しについて

【内容】

・東尋坊線

雄島附近の運行ルート変更は、雄島トンネルが狭く住民要望があるため、駐車場で迂回する。

あわら市舟津付近で運行の変更をしたい。交差点の改良に伴い歩道部分が広がったことで大型が通りにくくなったため今は黒い実線で運転している。

・池見線、高柳線

児童の減少により、2路線を1路線に統合し、運賃は池見線に合わせる。

・木部大石線

利用者がほとんどいないため廃止する。

(浅沼会長)

東尋坊線の工事はもう終わっても継続的にこのルートですか。

(矢部委員)

そうです。工事が終わった後もこの赤い迂回ルートを正式なルートとさせていただきます。

(浅沼会長)

池見線の運賃で高柳線に合わせるとのことですが、木部東からゲンキーとかの区間は350円ですが、これも全部310円になるということですか。

(矢部委員)

池見が発だからといって高く頂くとはいかないので今まで通りの値段でいけるようにしました。距離を走れば高くなるのだがこれは事業者の都合なので安い方に合わせます。

(浅沼会長)

他にご意見がなければ承認してもいいですか。

(委員)

承認

(浅沼会長)

路線バスの見直しについても承認いただきました。

他に何かご意見あれば。

(大野さん)

コミバスの生徒の乗りこぼしがあるとのことだったが解決しているのか。

(事務局)

28年度の議事録より、坂井高校の生徒数が800になるということで、こちらの対応が今のバス(中型バス)取りこぼしがあると聞き、続行便という形でカバーしたため、現状についてはそのような取りこぼしはないと思います。高校側にも確認しましたが、特に乗れないという状況はなくなっていると考えています。

5 その他

ポケット時刻表と芦原温泉永平寺丸岡直行便バスのチラシと三国花火チラシの案内。
今後の坂井市地域公共交通会議開催予定の案内。

6 閉会